



# あゆみ

No. 178

令和 6年 8月22日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮  
 〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680  
 TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090  
 E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp  
 社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>  
 施設の旬の話題を「レイザンTOP.I.X」にて更新中です。



## 『職員面接』

施設長 鮑田 一夫

猛暑日が続く厳しい夏もすでに立秋を過ぎ、暦だけは秋が始まっています。厳しい暑さに雨が降らない夏で、人以外の生き物も随分疲れがたまっているようです。我が家の猫もぐったりしています。

暑いさなかの七月、私は令和元年から毎年全ての職員と一人ずつ面接を行っています。普段あまり話す機会のない職員とも膝をつき合わせて話すことで、お互いの理解が深まるのではないかと考えて始めました。毎年緩やかな課題があり今年は協調性、積極性について各五項目ずつの質問でした。また面接時は仕事の面白さ、仕事をする上で重要なこと、困っていること、挑戦したいこと、心に残るエピソードなどを尋ねています。その結果はまとめて運営会議に挙げ、上がってきた課題は各施設で検討してもらいます。

一番の課題は、支援の統一と若手職員の育て方です。変則勤務のあるこの職場で情報を共有し統一した支援を行

うことは常に悩みですが、職員自身もそれを課題に挙げているので今後少しずつ是正されていくと思います。統一した支援を行うには職員同士のコミュニケーションが密であることが大切です。概ねコミュニケーションはとれているという意見が多かったのですが、長年勤めた職員から見れば、今の若手は先輩の背中を見て仕事を覚えるタイプではなく、どう育てていけば良いか悩んでいる様子でした。私もこの施設の良いところは是非伝えていって欲しいとお願いました。

他に気づいたことは、副主任、主任、補佐、課長という役職者が自分達の役割は何かを考えながら仕事をしてくれているということ、また、ほとんどの職員が、当たり前ですが利用者との関係を大切にし、利用者の喜びを自分のことのように受け取ってくれているということでした。施設長を目の前にしては本音が出せなかったのでは？という穿った考えは一応置いておき、素直に喜ぼうと思っています。

## サービスの現場より



『事務所より』

事務長 大塚 伸二

令和六年十二月二日より健

康保険証の新規発行が終了し、健康保険証を利用登録したマイナンバーカードで医療機関等を受診していただく仕組みに移行します。このため、全ての加入者に安心してマイナ保険証を利用頂くと共に、加入者自身の健康保険の資格情報を簡易に把握して、健康保険の諸手続きを行うため、加入者個人の「資格情報のお知らせ及び加入者情報（マイナンバーの下四桁）」が送付され、職員へ配布する事となります。

マイナ保険証を使って受診すると、初めての医療機関等でも特定健診や薬剤・診療情報が医師等と共有でき、より適切な医療が受けられます。また、限度額適用認定証がなくても、自己負担限度額を超える医療費の立替払いが不要となります。現在使用している健康保険証については、令和七年十二月一日まで使用することが出来ます。マイナンバーカードをお持ちでない等、マイナ保険証を利用することが出来ない状況にある方については、協会けんぽが発行する「資格確認書」で医療機関等を受診することが出来ます。今後も詳しい情報がわかりましたら、随時お知らせしていきます。



『担当利用者への取り組み』

荅山寮支援員 和田 卓巳

Tさんへの取り組みについて

紹介させて頂きます。Tさんは活発で好き嫌いははっきりしていらっやいます。好きな方にはとことん甘えて、嫌な事には、はっきり「いや」等の意思を伝えられます。特にお昼からはその好き嫌いが激しく見られ、何かTさんの好きな事、興味ある事を通して穏やかな時間を作れないかと思いい前から勤めていた職員の方に尋ねてみた所「戦隊物が好きだった」との話があり、ホールのテレビで視聴して貰う様にしました。流し始めると「うん。これこれ」と始めは視聴して下さいましたが、十分程で全然違うことをされて見たくれず「失敗したかな」と思っていたある時に「タブレットで動画を見て貰ったら集中してみてくれたよ」とある職員が試行してくれ、これが良かったと教えてくれました。そこから試すとタブレットではしっかりと見てくれており「良かったですね。見やすいですね」等の声掛けに「うん。これはよか」とTさんも納得の表情をされていました。まだまだ、好き嫌いが激しいTさんですが、タブレットで大好きな動画視聴を通して穏やかな時間が少し流れ始めています。



『担当利用者への取り組み』

第二荅山寮支援員 村田 陽次

私が担当させて頂いている

Fさんは、いつもニコニコされて人懐っこく誰にでも話し掛けてくださるとも明るい方です。Fさんはとても目が悪く、歩行時には下を向いて歩かれる癖があられます。その為、歩行時に他の利用者さんとぶつかりそうになったりされることが頻繁に見られ、施設では転倒の高リスク者にも挙げられています。歩行をする際はマンツーマンでの対応となり下を向いて歩いている時は、都度声掛けを行いながら取り組んでいるところです。長年の癖は治すのが難しく棟内歩行に参加される時は一緒に歩き前を見て歩く練習も行いましたが、中々改善しません。

Fさんは今年で七五歳になられます。歩行の声掛けを行うと、まだまだお若い方に負けじと率先して参加して下さいます。「Fさん歩行は楽しいですか」と尋ねると「うん、楽しいか」と笑顔で答えて下さいます。高齢でもあられるためマンツーマンで対応し、体調面や安全面への配慮を行いながら、引き続き楽しく歩行に参加出来るよう支援していかれたらと思います。

## 『eラーニングについて』

荅山寮支援員 濱 陸史



令和二年から流行した新型コロナウイルスの影響で、今まで行っていた内部研修、それから外部研修といった職員のスキルアップに繋がる学習の機会が大幅に減少する事となりました。暫くするとZoomを使用したオンラインでの研修会を開催する所も増え、自施設でも早急に設備を整え参加出来る態勢を作ったものの、パソコンを使った研修会は慣れない操作も多く、オンラインでの研修参加は消極的でした。

そのような中、昨年九月よりオンラインミー様が運営されているeラーニングの活用を開始しました。パソコンやスマートフォンを使用して動画を視聴するのですが、知的障がい分野に特化したコンテンツの動画が多くアップロードされており、言わば知的障がい分野のYouTubeと認識して頂くと分かりやすいかと思います。

このeラーニングの良いところは、いつでも、どこでも、見たい時にスマートフォンを使って見られる所にあります。又、アップロードされている動画の殆どが五分程度であり、隙間時間を活用して、手軽に知的障がい分野のノウハウを学べる事が出来るため、職員の負担となることも無く活用する事が出来ています。現在は、朝礼前や昼休み後に五分程度時間を取り、各自で好きなコンテンツの動画を視聴。また年に二回、虐待防止と身体拘束に関する動画を全職員に視聴して貰っています。今まで虐待と身体拘束の研修は変則勤務の都合上、外部講師をお招きしても全員が受講する事は不可能でした。しかしeラーニングを活用する事で、全職員が同じ内容の研修を受けることが出来、知識の偏りなく利用者の方と向き合うことが出来ています。

これからも、学ぶ姿勢を忘れず、より良いサービスの提供が行えるよう日々研鑽を積んでいきたいと思えます。



## 『自閉症スペクトラム症の研修を受けて』

第二荅山寮支援員 橋本 定



午前中は特性理解とかかわり方についての講義でした。自閉症スペクトラムの特徴として①社会的コミュニケーションの難しさ②イマジネーション障害(興味関心の偏りや常同行動)があり、それにプラスされ知的障害のある、なし、言葉の遅れを伴っている人、いない人など一言に自閉症スペクトラム症といっても色々な特徴があることが分かりました。共通の特徴として不安障害が起りやすいという特徴があり、生活をしていく上で何重もの困難さがあることもわかりました。例えば仕事をしていく上で休憩が苦手な方、変化が苦手な方、すべてをスケジュール化していないと何をしようかわからず不安や苦痛になってしまう方、初めてや未知の物が怖い方など普段の生活や仕事を行う上で障害が出てきてしまいます。

現在、私が担当させて頂いている利用者の方で急に大声を挙げたり、怒ったりしてしまう方がいらつしやいます。そういう場面を見かけた時は立ち止まり、どんなことが原因で大声を出してしまったのか考えることがあります。理由は単純なもので気に入らない利用者の方が目に入ったからとか、日課のパズルをしていた時に横から服を引っ張られたという理由が多かったりします。本人にとってルーティン化している行動やそれに文句を言うてくる方に対して攻撃的な行動をとっているという事が分かります。そういう時は近くに付き添い落ち着くよう支援をしています。ご本人のストレスの溜まり具合によっても攻撃的になる頻度が変わっているようです。

今回の研修を受けて、当たり前前のことですが病気や障害の特徴をよく知り、行動の予測や利用者さんが何を考えて行動しているのか、気になる物やルーティンはあるのかなど特徴をよく知り支援にあたる事が大事だと考えました。多くの利用者さんに安心して生活を送って頂けるよう今後も勉強していきたいと思えます。

# 家族交流会

6月20日

今回はボランティアの方々による大正琴の演奏があり、皆さん知っている歌を口ずさんだり、素敵な音色に「綺麗な音やったねえ。」と感想を述べられていました。

又、ご家族の方と一緒に伝言ゲームなどを行いとても盛り上がりました。皆さんの笑顔あふれる楽しい1日になりました。お忙しい中、たくさんの方々に来て頂きありがとうございました。



♪ボランティアの皆さんによる美しい音色の大正琴演奏♪



盛り上がりました！ご家族の方々と各種ゲーム(\*^o^\*)





7月3日

天草市民センターをお借りして、合同運動会を行いました。参加人員は両施設合わせて総勢百十四名が参加。エアコンも完備された広々とした環境で、梅雨晴れの蒸し暑さも気にならず、参加者も応援者も熱く盛り上がりました。大会のコンセプトは今は無き藍愛ピック。競技、演出も当時を再現し、懐かしんでもらいました。最後の職員対抗リレーではサンプルザ中野さん？も駆けつけて下さり、ランナーを熱唱。大いに盛り上がりました。



お二人で協力して！！大玉メディシンボール



力を合わせて！！綱引き



息を合わせて！！パンツDEデート



うまく入れてね！！玉入れ

## 「新職員紹介」



谷本 朱里さん（第二芥山寮支援員）

六月より、勤めさせて頂いています。よろしくお願ひします。



松下 里奈さん（芥山寮用務員）

七月より、芥山寮で勤めさせて頂いてます。早く、仕事を覚えて頑張ります。

## 『地域生活者交流会佐賀大会』

サービス管理責任者 橋口 敬

グループホームから二名の方が参加されました。全体会では各県のグループホームや地域で生活する人達の代表者が、過去の辛い思いを乗り越え独り暮らしや結婚等、これからの夢や目標等をお話されました。会場からは発表者に対し称賛の声が多く聞かれました。全体会后、参加した二名の方達に感想を聞くと、一人の方は「自分と同じように独り暮らしや自立を目指している人が多くいる事を知り励みになった」もう一人の方は「皆凄いととは思ったが、地域で暮らしの難しさを体験しており、今後もグループホームでの生活を続けて、歳を取ったら入所施設に入る」と自分なりの生活設計を立て、各々の考えを知る事ができました。交流会では沢山のひとと名刺交換をしたり、抽選会があったりと、楽しい時間を過ごされまた参加したいとの意見が聞かれました。



## 日常生活の風景



西田 廣幸さん

芥山寮あすなる班に所属されており、歩く事が大好きな方で七六歳となられた現在も、棟外歩行に毎回参加をされ、若い方にも負けないくらい元気良く歩かれています。歩行の甲斐あつてか、食事もしっかり摂ることがおできになり、病気や怪我をされることなく元気に毎日を過ごされています。また、心優しい性格の西田さんは、新しく入所された利用者の方を気に掛けてくださり、良き兄貴分として頼りになる存在です。



柴田 勝則さん

「第二芥山寮のご意見番」的存在の勝則さん。八十年間の人生経験は豊富であり普段は物静かな方なのですが、とても博識であり、一度お話が始まると自然と周りには皆さんが集まって来られるくらいお話し上手です。昨年は幼少の頃を思い出したいと長年持ち続けて来られた願いを叶えるべく、三角町まで行ってきました。あの時の心から喜ばれていた姿は、私の心にも鮮明に焼き付いています。『元気が内に...』が口癖の勝則さん。もっと笑顔を引き出せるよう、出来ることは全力で取り組んで参ります。

## 「退職職員」のご退職おめでとうございます。

岡部 陸雄さん・坂中 裕紀さん（芥山寮）

濱 美穂さん（第二芥山寮）  
お元気で益々のご活躍をお祈り致します。



## 「行事予定」

- 九月 十一日 敬老会
- 十三日 本町消防団合同夜間訓練
- 十六日 敬老の日
- 十九日 管内買い物
- 二十二日 秋分の日
- 二十三日 振替休日
- 三十日 チャレンジto O
- 十月 一日 えがおの会
- 九日 茶秋祭
- 十一日 啓明会溜池崩壊訓練
- 十四日 スポーツの日



## 「編集後記」

暑い日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。両施設共に新型コロナウイルスによる感染症対応となった期間がありました。制限のある生活で利用者様にはご迷惑をお掛けしました。まだまだ感染症、熱中症へも気を付けなければならぬ日々が続きます。先日まで世界中が盛り上がったオリンピックが閉幕しました。現在は高校野球が甲子園で開催されています。郷土代表の熊本工業高校は惜しくも負けてしまいましたが、他県の高校でも、やはり一生懸命頑張っている姿は見ていて応援したくなります。私も利用者様が沢山の笑顔で生活して頂けるように、日々一生懸命支援させて頂きます。